

総合学習学習指導案

授業者 清田(T1) 原(T2) 金川(T3)
盛谷(T4) 藤原(T5) 春名(T6)
舟木(T7)

- 1 日時・場所 10月15日(月) 13:50~14:40 プレイルーム1
- 2 学部・学年 高等部1, 2, 3学年
- 3 単元名 「屏風作り」
- 4 単元設定の理由

<生徒観>

本分級では、創作活動及び体験学習を重視して学習を組み立ててきた。新しいことへ取り組んでいくことに積極的な生徒も多く、これまでの経験も生かすことができる生徒も多いため技能の習得は早い。

今年度の総合学習での、牛乳パックを使った紙漉の学習においても、ほとんどの生徒が紙漉きの手順を覚え、紙を漉く技術も向上し、安全のため教員が生徒の側につく必要さえなければ、生徒たちだけで一連の作業を終えることができると思われるまでになった。

また、油彩画の制作を通して、色遣いによる印象の違い、効果的な配色といった経験も重ねてきており、教科書で相似色や対峙色を確認してから制作している生徒もいる。

<教材観>

夏期休業中に行われた「平成19年度 広島県特別支援学校 美術・工芸展」に絵手紙を展示するために二曲一双の屏風をみつらえた。今回この屏風一面、縦160cm、横60cmの大きさの紙を漉き、4枚の紙に共通したテーマで絵を描く活動を設定することにした。これまでの個人制作ではなく、他の生徒と協力しての活動をねらったことである。共同作品とすることで、必然的に自分の考えた案と、他の生徒の考えた案をすり合わせる活動が必要となり、個々の得意な絵を一枚の紙に描いていくことにより、一枚に表される絵がより深みのあるものになることが期待できる。

<指導観>

指導にあたっては、「二曲一双の屏風を作る」という最終目標に向け、生徒から絵のテーマを募り、出された意見を膨らませていくよう配慮しながら、生徒が中心となって制作活動を進めていくよう促していきたい。その中で、個々の生徒の力が絵の中に発揮できるよう、サポートにつく教員と連携をとりながら、必要と思われれば生徒にアドバイスをし、協力して一枚の絵を作り上げたという達成感を味わわせたい。

5 単元の目標

- 4枚の絵に共通するテーマを考える。
- テーマに即した屏風絵を協力して描く。

6 指導計画 [全10時間]

- 第1次 紙漉..... 3時間
- 第2次 屏風作り..... 7時間(本時5/7)

7 本時の目標

○全体の目標

・グループの仲間とともに、前時までに考えた「春夏秋冬」という言葉から連想する絵を紙に描いていく。

○個々の目標

生徒	目 標
A	・筆を持ち、線で草や風を描く。
B	・人や家の絵を描く。 ・サクラの花びらのスタンプを作って、押していく。
C	・雪だるまの下絵を描く。 ・雪のバランスを考える。
D	・ひまわりの下絵を描く。
E	・絵の具を溶かした水の入った霧吹きを使って、絵に色を付けていく。
F	・帽子の絵を描く。
G	・細かな風景を描く。 ・全体のバランスを見て、次の絵をBに描くよう提案する。
H	・さをりの布を、Dの描いたひまわりの絵の大きさに合わせて切る。 ・DやFに次の作業を提案する。
I	・全体の下絵を描く。 ・Aに次の作業の提案をする。

8 学習過程（別紙）

9 準備物

漉いた紙、鉛筆、絵の具セット、墨汁、はさみ、さをりの布、霧吹き、のり、新聞紙

8 学習過程

時間 (分)	学習活動	指導上の留意点 内は課題, ○は支援, は評価								
		A	I	B	G	C	E	D	F	H
3	1 学習課題を確認する。	前の時間に描いた屏風の下絵をもとに, 漉いた紙に絵を描いていくことを確認する。								
40	2 制作	<p>秋を協力して制作する。</p> <p>・筆を持ち, 線で草や風を描く。 ・押し花をIの下絵の上に貼る。</p> <p>紙に線を描くよう促す。</p> <p>筆を持ち, 線を描けたか。</p>	<p>全体の下絵を描く。 ・Aに次の作業の提案をする。</p> <p>絵のバランスに注意させる。</p> <p>Aに提案するなど, 力を合わせた活動にすることができていたか。</p>	<p>春を協力して制作する。</p> <p>・人や家の絵を描く。 ・サクラの花びらのスタンプを作って押す。</p> <p>描く絵が小さくなりすぎないように, 大体の大きさを示す。</p> <p>人や家の絵をGの提案を受けて描くことができたか。</p>	<p>・細かな風景を描く。 ・全体のバランスを見て, 次の絵をBに描くよう提案する。</p> <p>より良い作品となるよう, 全体を見渡させ, バランスをとらせるよう促す。</p> <p>全体を見通し, Bと協力して制作活動を進めることができたか。</p>	<p>冬を協力して制作する。</p> <p>・雪だるまの下絵を描く。 ・雪のバランスを考える。</p> <p>大きな雪だるまを描くよう促す。</p> <p>雪模様になるペットボトルの蓋の位置がよいか, 立ち位置などを変えてCに確認するよう促す。</p> <p>雪だるまの下絵を描くことができたか。</p>	<p>・絵の具を溶かした水の入った霧吹きを使って, 絵に色を付けていく。</p> <p>何色の色水を作るかCと相談するよう促す。</p> <p>霧吹きを使って, 色を付けていくことができたか。</p>	<p>夏を協力して制作する。</p> <p>・ひまわりの下絵を描く。</p> <p>Hと相談させながら, 大きさのイメージを持たせて描かせる。</p> <p>ひまわりの下絵を大きく描くことができたか。</p>	<p>・帽子の絵を描く。</p> <p>絵を描きやすいように画用紙を押さえる。</p> <p>色々な形や色の帽子を描くことができたか。</p>	<p>・さをりの布を, Dの描いたひまわりの絵の大きさに合わせて切る。 ・DやFに次の作業を提案する。</p> <p>はさみを安全に取り扱うよう注意させる。</p> <p>中心となり, 協力して活動することができたか。</p>
7	3 次時の予告 ・後片づけ	引き続き, 制作していくことを知る。								